

+.....+
【ケアプロ通信vol.86】
12月度ニュース: Carepro Healthy Party 2019 を開催いたしました！
+.....+

いつも大変お世話になっております。

ケアプロは12月12日に創業12年を迎えました。
創業日に、中野セントラルパークカンファレンスにて
社員と、関係者のみなさまとで、ケアプロの過去、現状、未来を共有する場として
Carepro Healthy Party 2019を開催いたしました。
Facebookライブ配信動画は[こちらから](#)

当日はたくさんの方にご出席いただきました。
この場を借りて改めて御礼申し上げます。

12月からは13年目に入りました。
今までと変わらず、一歩ずつ確実に、「いっちにーいっちにー」と進んでまいります。

来年以降も、創業日の12月12日に、Carepro Healthy Partyを開催いたします。
今年ご出席いただけなかった方も、ぜひご検討くださいませ。

それでは12月度のニュースをお届けいたします。



+.....INDEX.....+
【1】代表 川添高志 ブラインドサッカー国際親善試合で救護運営
【2】 予防医療事業部
 1) 事業部長が交代になりました。
 2) 講師を招いて、研修会を実施しました！
【3】 在宅医療事業部
 1) 在宅看護学会のベストオーラル賞に小倉が選ばれました！
+.....+

+……………代表 川添高志からのメッセージ……………+

12/8 町田市立総合体育館にて開催されたブラインドサッカー国際親善試合でケアプロ看護師が救護運営しました。



現在、移動支援や救護運営のマッチングシステム「[ドコケア](#)」を開発しており、実際の救護に携わらせていただきました。

見えない状況のため正面衝突などの激しいスポーツであり、脳震盪や骨折などリスクと隣り合わせです。



また、子供から高齢者、外国人、車椅子の方などダイバーシティにとんだ観客が2,000名程度来場されており、観客の救護もニーズがあります。

日本サッカー協会では2030年にはサッカーファミリー800万人という目標を掲げ、31度以上の試合では看護師等を配置するなどガイドラインで定めています。

引き続き、安全、安心のスポーツのために全国各地で救護ができる看護師を手配できるようにシステムを構築していきたいと思えます。

+……………予防医療事業部長 大関 夏子からのメッセージ……………+

1)事業部長が交代になりました。

1年9か月間事業部長を務めた鈴木が産休に入るのに伴い、
事業部長が12月より鈴木から大関へ交代となりました。

鈴木が育ててきた事業部を更に発展させて成長していけるよう、
尽力して参ります。

ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



写真左:鈴木 写真右:大関

2)講師を招いて、研修会を実施しました！

12月3-4日の2日間、外部講師を招いて研修会を実施しました。

「ケアプロで働く上で、自分がやりたい姿を考える」をテーマに、
様々なワークショップを行いました。

研修の中で、自分の強みやお互いの理解を深めながら、
自分のやりたい姿を考えるきっかけとなりました。

今回の研修をきっかけに、さらに組織が成長できるよう、
日々の業務でも活かしていければと思います。

+……………在宅医療事業部長 金坂 宇将からのメッセージ……………+

1)日本在宅看護学会のベストオーラル賞に選ばれました！

12/7、8に新宿で開かれました、日本在宅看護学会に参加し、ケアプロとしても3題の発表を行いました。

2題は災害関連のもので、日本赤十字大学等と共同で行なっているBCPに関する研究発表と自社の在宅ケア防災研究会の活動報告を行いました。

災害関連については、変わらず注目が高く、内外共に取り組みを継続、強化していくべきなのだと再確認をした時間でした。

またもう1題は、新卒3年目の小倉が実践報告の発表を行いました。

演題名は、
「パーキンソン病利用者と医療者の対話を通じた自己管理促進の支援—コンコーダンスの概念を用いた関わりから—」で、
今回なんと、この演題が、ベストオーラル賞を受賞しました！！
この受賞はとても嬉しく、ケアプロ一同で大変喜んでいきます。

現場の看護を言語化することは自身の成長にも、後進の育成、組織・業界の発展のためにも重要だと考えています。

今後より、スタッフが実践報告や研究発表について取り組めるよう、継続した取り組みをしていきたいと思っております。

※BCP…災害などの緊急事態が発生したときに、企業が損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための計画。

